

<フェルビナク（テープ剤）> 症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 30代	頸椎椎間板ヘルニア (なし)	70mg 4日間	胸内苦悶（アナフィラキシー様反応）	
				投与前	統合失調症は症状寛解。 頸椎椎間板ヘルニアは症状軽快も左手しびれ残存。
				投与開始日	頸部に本剤使用（約12時間）。 開始後、ピリピリ感出現するが20分程度で消失。
				投与2日目	上記同様の症状。同様に約12時間使用。
				投与3日目 (発現日)	使用数分後、息苦しさが出現するが、気のせいだと思 い約12時間使用。 息苦しさは持続。
				投与4日目 (発現2日目) (投与中止日)	使用数分後、前日にも増して息苦しさが強く出現。 アナフィラキシー様症状と考え、中止を指示。 中止後、速やかに症状消失。
				これ以降、同剤未使用。 以後、同様症状の出現なし。	
併用薬：アリピプラゾール、リスペリドン、アフロクアロン、ロキソプロフェンナトリウム水和物、メコバラミン、 レバミピド、アルプラゾラム、ブロマゼパム					